

水中ポンプ C4SP ご使用上の注意

寿命

運転

◎ フィルター等で濾過された **きれいな水中**で、定格運転を条件に 5000 時間以上ご使用いただけます。

◎ 本ポンプは**水中用**です。**水中以外での運転（特に空運転）は絶対にしないでください。**（水位センサー付は水が無くなった時に自動停止します）

◎ ポンプ内部に強力なマグネットが入っています。鉄、ニッケルなどの粉末を含む液体は使用できません。

◎ ポンプに異物が入らないようにしてください。

⚠ 水の汚れや異物を吸い込むと、ポンプが壊れる恐れがあります。ガタつく、音が急に大きくなった、急に水が揚がらなくなった等の異常がみられた場合は、直ちに**電源を切り、ポンプ吸込口の異物を取り除いてください。**

掃除

◎ 定期的にポンプ内部の軸受け部分（センサー付きはセンサー部分も）を掃除していただくと、長時間ご使用いただけます。

◎ 掃除は、ポンプの電源を切りポンプが停止した状態で行ってください。水またはぬるま湯の中で布切れ、ブラシ、綿棒等でこすり落とすように洗ってください。

⚠ **合成洗剤・石油系溶剤は決して使用しないでください。**

1) ケーシング取り付けネジ 4 本（吸い口側）をはずし、ケーシング及びパッキンを外します。

2) シャフトよりインペラー・ローターを抜き取り、下記の点検をしてください。

⚠ ローターを落とすと破損する場合があります。磁力がありますので気をつけてお取り扱いください。

3) 組み立ては上記の手順を逆行で行ってください。

分解 および 点検

組み立て

1) シャフトにローターユニットを差し込みます。

2) ポンプ本体にパッキンを取り付け、ケーシングをかぶせます。

⚠ **パッキンがズレないようにご注意ください（図 2 参照）。**

3) ケーシング取り付けネジ 4 本で固定します。

⚠ **ネジを締め付けすぎるとネジ山が壊れます。** 水が漏れない程度に締めてください。

電源

◎ このポンプの電源は**直流（DC）**でご使用ください。

◎ 定格電圧（12V-24V）で赤色リード線に+（プラス）、黒色（マイナス）を接続してください。

◎ 家庭用コンセント（AC100V）で運転する場合は、**指定の AC アダプター** [12V 1.2A] をお使いください。

取付姿勢

◎ 全方向使用可能です。

⚠ ポンプを水に沈めたらまず**水中で本体を傾けて内部のエア（空気）を抜きます。** 泡が出なくなってから電源を入れてください。特に逆さまに設置したときはポンプ内のエアが抜けず、電源をいれても最初水が揚がらないケースがみられます。一旦電源を切り、水中でポンプ本体を傾け内部の空気を抜いてからご使用ください。

その他

⚠ 本体、コードにキズやヒビ割れがある場合は、感電の恐れがありますので使用しないでください。ポンプのコードを持って運んだり、ぶら下げないでください。

⚠ 落としたり、ぶつけたり、キズをつけないようにしてください。

⚠ ポンプを使用できる温度は 4℃（凍っていない水）～ 50℃です。凍結しそうな場合は電源を切りポンプ本体を水から取り出しておいてください。

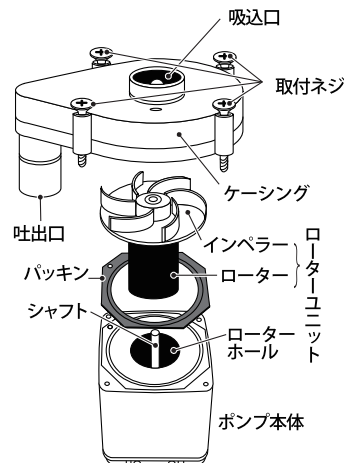


図1 C4SP本体（倒立位）分解図

< 点検項目 >

- ☐ 異物、水垢がないか
- ☐ ポンプ本体のローターホールにキズがないか
- ☐ 軸受けが磨り減っていないか
- ☐ インペラーが破損していないか

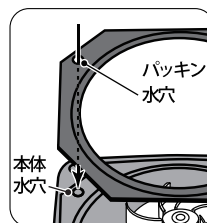


図2 パッキンを戻す際の注意

- ⚠ パッキンと本体の水穴を合わせてください。
- ⚠ パッキンはシワやずれがないよう丁寧に戻しましょう。

C4SP専用フィルターの掃除方法について

1. フィルター掃除について

フィルター掃除と、容器内の水替え・清掃は定期的に行ってください。

下記のような症状が出ている時はフィルターの汚れ・目詰まりが疑われます。放置すると危険ですので、すぐに電源を切りフィルター清掃を行ってください。

- ⚠ ポンプの汲み上げる水量が落ちた
- ⚠ モーターが回っている音がするのに、水が出ていない

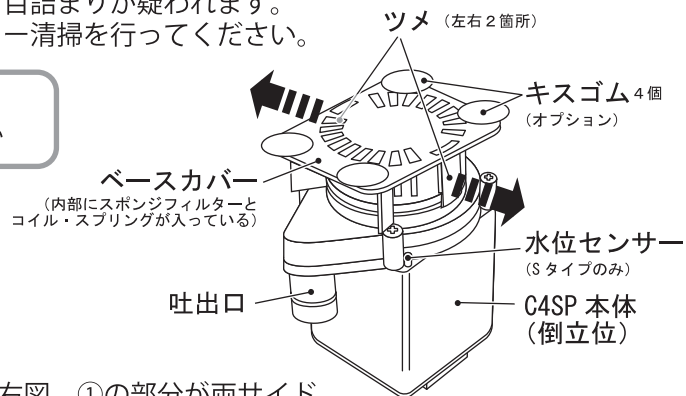


図1

ベースカバーの取り外し方

2. フィルター掃除の手順

フィルターを 取りはずす

まず、ベースカバーをC4SP本体から取り外します。右図 ①の部分が両サイドでフックになっています。軽く開いて②の方向へはずします。

- ⚠ ポンプ本体、フィルター、その他部品のお手入れの際には、合成洗剤、石油系洗剤を決して使用しないでください。（樹脂を痛めます）
- ⚠ 強く引っ張りすぎるとフックのツメが破損する場合があります。

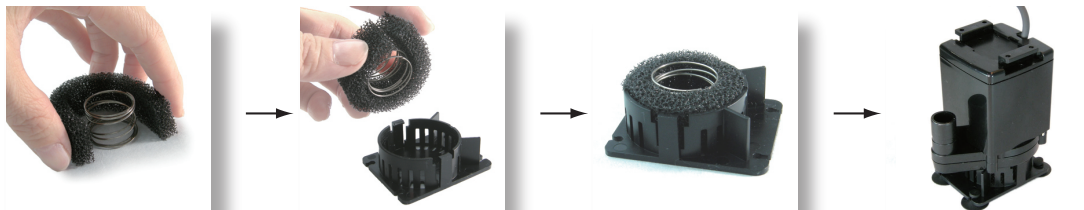
フィルター、ベースを洗う

フィルタースポンジ、コイル・スプリングを取り外し、水またはぬるま湯で軽くもみ洗いをしてください。
ベースカバーの細かい部分はブラシやめん棒を使って掃除します。
最後に、フィルタースポンジやベースカバーに目詰まりがないことを確かめます。



フィルターを元通りに取り付け

コイル・スプリングのまわりにフィルタースポンジを巻きつけるようにして持ち、ベースカバー内部へセットし、ベースカバーを本体の元の位置に取り付けます（カチッと音がするところまで）。



- ⚠ コイル・スプリングなしでフィルタースポンジだけセットした場合、運転時にスポンジがポンプ内部に吸い込まれるなどの故障の原因になります。コイル・スプリングは必ず戻しましょう。